

「九州・ミャンマー経済交流ミッション2018」開催結果

九州経済国際化推進機構（以下、機構）は2018年2月4日（日）～9日（金）にかけてミャンマー連邦共和国（ヤンゴン市）へ経済交流ミッション（団長：麻生 泰 九州経済国際化推進機構会長、顧問：高橋 直人 九州経済産業局長）を派遣しました。

今回のミッションは政府機関や経済団体への訪問、勉強会を通して投資環境調査を行うと共に、九州・ミャンマー双方のビジネスチャンスの拡大に繋げていくことを目的に九州の企業、支援機関などから41名（部分参加者8名）が参加しました。

ミッション3日目にはミャンマー商工会議所連盟（UMFCCI）の協力によりビジネスマッチング交流会を実施し、九州企業とミャンマー企業の間で合計40件の面談を行い、九州・ミャンマー双方でのビジネスの可能性を探ると共に、双方の良好なネットワークを構築することができました。



ミャンマー商工会議所連盟ゾーミンウィン会頭(右)
と九州経済国際化推進機構 麻生泰 会長



ミャンマー計画財務省投資企業管理局 タン・スウィン・ルイン
副局長(左)と九州経済国際化推進機構 麻生泰 会長



ミャンマー投資環境勉強会



ビジネスマッチング交流会

各プログラムの概要

<p>1. ミャンマー投資環境勉強会</p>	
<p>日時：2月5日（月）9:00～11:00</p>	
<p>概要：ジェトロヤンゴン事務所よりビジネス・投資環境のブリーフィングを受け、貿易・投資上のメリット、デメリットの説明を受けたほか、日系企業による事例紹介として Daiichi Asia 社と株式会社メトロコンピュータサービスよりこれまでのミャンマーでのビジネスについてご講演いただきました。</p>	
<p>2. 在ミャンマー日本国大使公邸夕食会・現地情勢ヒアリング</p>	
<p>日時：2月5日（月）18:00～20:00</p>	
<p>概要：在ミャンマー日本国大使公邸にて夕食会を実施しました。樋口建史日本国特命全権大使をはじめ、大使館やミャンマー日本人商工会議所の方々との意見交換を実施しました。樋口大使には冒頭ミャンマーの政治・経済情勢についてお話しいただきました。</p>	
<p>3. 日系企業視察</p>	
<p>日時：2月6日（火）10:00～11:00</p>	
<p>概要：IIDA Electronics Myanmar Co., Ltd. を訪問し、山口隆マネージャーより同社の概要、ミャンマーの魅力についてブリーフィングいただきました。その後 EDMS*事業を視察しました。</p> <p>*Electronic Document Management System のこと</p>	

4. 九州ミャンマービジネスマッチング交流会	
日時：2月6日（火）14:00～17:00	
<p>概要：インフラや人材、農業、食品等の幅広い業種から構成する九州企業 13 社と、ミャンマー企業が、九州企業の取扱製品・サービスについて、面談形式による意見交換を実施しました。合計 40 件の面談を実施しました。</p>	

5. ミャンマー計画財務省投資企業管理局（DICA）表敬訪問	
日時：2月7日（水）10:00～12:00	
<p>概要：DICA のタン・スウィン・ルイン副局長を表敬訪問し、九州企業のミャンマーへの進出について、麻生団長、高橋顧問らと意見交換を行いました。また九州企業を代表して青紫蘇農場株式会社と株式会社カシマ製作所によるプレゼンテーションを行いました。</p>	

6. ミャンマー商工会議所連盟(UMFCCI) 表敬訪問	
日時：2月7日（水）14:30～16:00	
<p>概要：UMFCCI のゾーミンウィン会頭への表敬訪問を行い、麻生団長、高橋顧問らミッション団員と意見交換を行いました。DICA に引き続き、青紫蘇農場株式会社と株式会社カシマ製作所によるプレゼンテーションを行いました。</p>	

7. ティラワ経済特別区視察

日時：2月8日（木）9:15～11:40

概要：日本とミャンマーの官民連携により2015年に創設されたティラワ経済特区を視察しました。ティラワ MJTD 社の清水社長によるブリーフィングの後 Yusen Logistics Myanmar 社を訪問、視察しました。

